

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	利用児童の年齢差が大きく、年長者と年少者が同時間帯利用の場合には年少者の安全確保が優先されてしまい、年長者が十分に活動できない現状がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	0	児童発達支援の登録者数と放課後等デイサービスの登録者数に偏りがあり、職員の配置が過剰人員となることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0	機械浴を設置したりフラットな床で統一したりとバリアフリーへの配慮は適切になされている。転倒のリスクがある箇所にはクッション性のあるマットを使用している。危険な箇所にはその都度工夫して対応している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	6	0	1	職員会議を開催しているが、運営上の改善に対する議題が多く、児童への支援については十分な検討が行えていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	アンケート回収後に事業所内で結果を共有し、より良い支援方法検討の一助としている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	ホームページでの公開を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	0	問題が生じた際に第三者委員会より助言を受けられるように連携を図っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	虐待防止や医療事故防止研修などは実施しているが、発達に関する知識や技術研修は不十分。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	各職種間では綿密なアセスメントを行っているが、全職種参加型のアセスメントは不十分。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	2	アセスメントツールの選定を行っており、今後運営できるように準備中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	療育は主に保育士が立案しており、他職種が十分に立案に参加できていない。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	季節の変化に応じてプログラムを変更している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2	0	利用形態に応じた細やかな課題変更までは行えていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	子どもの状況に合わせてプログラムを変更している。

ハ	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	0	業務分担については朝礼で行っている。細やかな療育方法についてはもう少し打ち合わせを行うことで質の向上につながると思われる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	2	始業前の打ち合わせや申し送りノートを活用して情報共有は行えているが、終業後の打ち合わせは行えていない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	支援記録を作成し、必要に応じて読み返すことで支援の一助としている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	児童発達支援管理責任者がモニタリングを行い、後にチームで情報共有した上で計画作成を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	0	0	感染対策の観点から地域交流の機会の提供については行えていないが、その他は提供できている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	児童発達支援管理責任者が主に参加し、不足があればその他専門職も同席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	0	日々の送迎業務時に教職員とコンタクトを取り、情報共有に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	0	0	指示書の提供を依頼し、状況に応じて指示を仰ぐようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	2	施設の性質上、就学前の利用施設も弊法人の児童発達支援であることが多く、就学前から一貫して支援を行っている事が多い。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	0	0	情報提供書を作成し、提供したり担当者会議に参加したり等の方法で情報提供に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	4	感染対策を講じた上で可能であれば再開したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	7	感染対策を講じた上で可能であれば再開したい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	0	6	感染対策を講じた上で可能であれば再開したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	主に送迎時に保護者とコンタクトを取り、情報共有に努めている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	3	ニーズに応じて自宅でのセルフトレーニングを指導している。
護 者 へ の 説 明 責 任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	契約時に契約書および重要事項説明書の読み合わせを保護者と行い、変更のたびに説明を実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	収集した情報を基に助言や支援方法の提案を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	7	感染対策を講じた上で可能であれば再開したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	意見箱や苦情申し立て窓口を設置し、苦情等が寄せられた際には即座に対策を講じている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	会報の発行やSNSへの投稿を通じて発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	個人情報保護法や守秘義務を順守し、業務にあたっている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	自己決定を促せるよう声掛けに配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	7	感染対策を講じた上で可能であれば再開したい。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	1	緊急時対応マニュアル改訂中。保護者への周知ができていないため、周知する方法を検討したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	定期的に災害訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	定期的に内部研修として虐待防止研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して	7	0	0	職員間で身体拘束の必要性や方法について定期的に会議を行い、決議を明記した書類を提示しながら保護者から同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	利用児が食する物は自宅から持参されているもののみを提供している。 緊急時対応マニュアルにアレルギー情報は記載している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	院内LANを通じてヒヤリハット事例を各職員が確認できるように努めている。